

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	7008	(H.27)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共下水道事業特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	飯田 玲子	

会計区分	事業コード	007008
公共下水道事業特別会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
公共下水道、戸別浄化槽の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名張地区及び富貴ヶ丘住宅地を含む中央処理区第2期事業区域の整備を進めます。</li> <li>・公共下水道全体計画により、北部地域への区域拡大や設備の増設、また南部処理区の事業取得に取り組みます。</li> <li>・接続移管した住宅団地の施設老朽化に対し、長寿命化対策を含めた改築事業に取り組みます。</li> <li>・戸別浄化槽の計画地区において、地域の合意形成を促進し、水洗化を図ります。</li> </ul>

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	◎建設費(H26繰越分537,130千円)(H27現年分 517,116千円) ・管渠詳細設計、処理場施設増設、接続幹線工事、長寿命化対策他<平成28への繰越733,225千円> ◎施設管理費570,812千円 中央浄化センター施設管理、管渠修繕、南部住宅地汚水処理施設管理、等 ◎総務管理費68,398千円 システム使用料、料金徴収業務負担金等 ◎戸別浄化槽整備費12,988千円 ◎戸別浄化槽施設管理費8,114千円◎積立金1,963千円 ◎公債費424,726千円◎繰出金61,491千円	◎建設費1,024,410千円 ・管渠詳細設計、TV検査、工事施工管理、処理場施設増設、面整備、接続幹線工事、長寿命化対策、他 ◎施設管理費636,387千円 中央浄化センター施設管理、管渠修繕、南部住宅地汚水処理施設管理、等 ◎総務管理費57,483千円 システム使用料、料金徴収業務負担金等 ◎戸別浄化槽水洗化補助319千円◎戸別浄化槽施設管理費10,711千円◎積立金5千円 ◎公債費460,564千円◎繰出金5,719千円◎予備費10,000千円	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央処理区 第3系水処理施設設計委託	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央処理区 第3系水処理施設工事	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央処理区 第3系水処理施設工事

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	(537,130千円) 1,665,608千円	2,205,598千円	2,181,720千円	5,017,797千円	4,697,608千円
内訳(千円)					
国・県支出金	(215,390) 165,839	404,000	285,615	1,634,927	1,482,320
地方債	(289,200) 398,400	628,100	547,800	2,038,400	1,813,300
その他(使用料等)	(32,540) 924,694	810,509	887,829	886,893	962,263
一般財源	(0) 176,675	362,989	460,476	457,577	439,725
人数					
職員	19.00人	17.00人	17.00人	17.00人	17.00人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 132,935千円	135,902千円	136,000千円	136,000千円	136,000千円
①+②総事業費	(537,130千円) 1,798,543千円	2,341,500千円	2,317,720千円	5,153,797千円	4,833,608千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
中央処理区第2期事業の平成30年度整備完了(整備区域766ha)を目指し、名張地区や富貴ヶ丘1期地区の接続移管に向けた下水管路の整備を促進しました。 移管済み住宅地の下水施設の老朽化に伴う維持管理費の増大が課題となっており、平成27年度では管路の長寿命化工事及び不明水調査等を実施しました。	事業延伸した中央処理区第2期事業において、名張地区の面整備や住宅地の接続移管を整備促進させると共に、接続移管住宅地の老朽化施設に対し、計画的な長寿命化対策を含めた改築事業の計画実施に取り組みます。 また、接続率の向上に向けた勧奨等加入促進を図り、施設の維持管理においても、既存施設の適正な定期点検に努めるとともに、不明水対策についても年次計画的に取り組みます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践、検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	継続した下水道の普及促進は、健康で快適な生活環境を形成するとともに、公共水域の水質汚濁を防止し、豊かな自然環境を保全に貢献しています。(参考:中央処理区の整備人口22,828人、普及率28.5%、面整備率77.8%)
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由  
 「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に係る5か年の整備計画に基づき、事業実施を図ります。また、下水道事業のストックマネジメントの実施についても検討してまいります。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画  
 名張市下水道整備マスタープラン  
 名張市公共下水道全体計画